

核兵器のない世界へ！あなたも署名を！

2012年国連軍縮週間（10/24～30）

私も核兵器禁止を
よびかけています



広島市長 松井一實
新潟市長 田上富久
著者 谷口綾輝



作家・巻名 瀬戸内寂聴
日本プロ野球名球会 張本 勲
名古屋大学特別教授 益川敏英

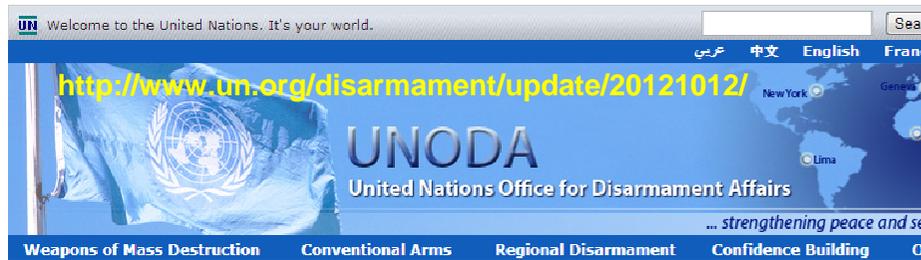


俳優 山本太郎
歌手 元ちとせ

私たちも賛同しています
(順不同 敬称略)

吉永小百合 女優
大江健三郎 作家
山田洋次 映画監督
クミコ (歌手)
沢田研二 (歌手)
杉良太郎 (俳優)
上條恒彦 (歌手・俳優)
湯川れい子 (女優・歌手)
日野原重明 (聖路加国際病院理事長)

核兵器を禁止するために交渉開始をよびかけるこの運動には、
たくさんの方々が賛同し、署名をよびかけています。



THE JAPAN COUNCIL AGAINST ATOMIC AND HYDROGEN BOMBS (GENSUIKYO) VISITS HIGH REPRESENTATIVE FOR DISARMAMENT AFFAIRS

12 October 2012 — Yesterday, a delegation of 7 peace activists of The Japan Council against Atomic and Hydrogen Bombs (Gensuikyo) visited the United Nations Office for Disarmament Affairs (UNODA) in New York and handed over a symbolic signature of the appeal for a total ban on nuclear weapons to Ms. Angela Kane, High Representative for Disarmament Affairs.



Gensuikyo delegation presents Ms. Kane with a symbolic signature of the "appeal for a total ban on nuclear weapons"

Their campaign to collect signatures in Japan and overseas calling for a total ban on nuclear weapons was launched in February 2011. Despite the earthquake and tsunami that struck Japan on 11 March 2011 the campaign went ahead across all

10月11日、日本原水協の代表団は、ニューヨークの国連本部にて、アンゲラ・ケイン国連軍縮問題担当上級代表に面会し、日本国内で集めた210万1260筆の署名(目録)と自治体首長・議会代表の1792人分を提出しました。この取り組みは国連軍縮局ホームページで紹介されました。(上写真)。

代表団は、核保有国のイギリス、パキスタン、非同盟諸国のインドネシア、新アジア連合のメキシコ、ブラジル、中立国のオーストリア、スイスなど代表部を訪問し、核兵器禁止条約交渉開始への努力を要請しました。

210万筆の署名を国連に届け、ホームページでも紹介！

10月24日から国連軍縮週間がはじまりました。「戦争はしない」「紛争は平和的に解決する」ことが国際的なルールです。各国政府や草の根の市民が、世界中で軍縮のための行動をおこしています。いま私たちは、世界から核兵器をなくすため、国際署名「核兵器全面禁止のアピール」を集めています。潘基文国連事務総長をはじめ、ノーベル賞受賞者や各界の著名人がたくさん賛同しています。

この署名運動には、趣旨に賛同する人なら誰でもどこでも自由に参加することができます。あなたの一筆が大きな力をもっています。ぜひこの協力ください！